

Altibase クイックスタートガイド

Altibase 4 クイックスタートガイド

このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。特に記載していない場合、このソフトウェアおよびマニュアルで使用している会社、組織、製品、人物、キャラクタ、データなどの名称は架空のものです。実在する商品名、団体名、個人名などとは一切関係ありません。このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。

このソフトウェアおよびマニュアルのいかなる部分も、シアンス・アール社の書面による許諾を受けることなく、その目的を問わず、どのような形態であっても、複製または譲渡することは禁じられています。ここでいう形態とは、複写や記録など、電子的な、または物理的なすべての手段を含みます。

シアンス・アール社は、このマニュアルに記載されている内容に関し、特許、特許申請、商標、著作権、またはその他の無体財産権を有する場合があります。このマニュアルはこれらの特許、商標、著作権、またはその他の無体財産権に関する権利をお客様に許諾するものではありません。

このマニュアルの使用や使用結果による責任は全て利用者にあります。

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権

Copyright © 2007 Science Arts Inc. All rights reserved.

連絡先

E-mail : altibase@science-arts.com

1. クイックスタートガイドについて.....	4
2. Altibase のインストール.....	4
2.1. システム要件.....	4
2.2. インストールの前に.....	4
2.3. Altibase サーバのインストール.....	4
2.3.1. UNIX 環境 (Redhat Linux) へのインストール.....	4
2.3.2. Windows 環境へのインストール.....	5
2.4. インストール完了後の作業.....	5
3. データベースの作成と削除.....	5
4. Altibase サーバの起動と確認.....	6
5. コマンドラインツールの使用.....	6

1. クイックスタートガイドについて

本ガイドでは、**Altibase** を初めて利用される方がデータベースを作成して、**Altibase** サーバを起動し、基本的な操作を行うための手順を説明しています。**Altibase** について、より詳しく知りたい場合には、マニュアルを参照してください。

2. Altibase のインストール

2.1. システム要件

対応 OS	Redhat Linux ES 4.0 (32bit) Redhat Linux ES 4.0 (x64) Windows 2003 Server Windows 2003 Server x64 Edition
Memory	256MB 以上 (512MB 以上を推奨)
Disk	400MB 以上

2.2. インストールの前に

(1) ポート番号の確認

Altibase は既定の設定で **20300** のポートを使用します。**20300** ポートを使用しているアプリケーションがないか事前に確認をします。既に使用されている場合は、**Altibase** インストール後に定義ファイル **conf/altibase.properties** の以下のエントリを編集して、未使用のポート番号を設定してください。

(2) データベース格納ファイルパスの決定

Altibase で使用するデータベースファイルの格納先のファイルパスを決定しておく必要があります。

(3) Altibase サーバ用ユーザの作成 (Linux 環境)

Altibase サーバを実行するためのユーザ環境を作成します。

2.3. Altibase サーバのインストール

2.3.1. UNIX 環境 (Redhat Linux) へのインストール

(1) Altibase サーバパッケージの解凍

tar コマンドを使用して、サーバパッケージを解凍します。

```
tar -zxvf
```

(2) 環境変数の設定

以下の環境変数を設定します。

```
ALTIBASE_HOME : Altibase のホームパス
```

PATH : \$ALTIBASE_HOME/bin を追加
LD_LIBRARY_PATH : \$ALTIBASE_HOME/lib を追加

2.3.2. Windows 環境へのインストール

セットアッププログラムを起動し、インストールウィザードに従ってインストールを行います。

2.4. インストール完了後の作業

(1) ライセンスファイルの設定

\$ALTIBASE_HOME/conf/license ファイルを編集して、付与されたライセンスキーに更新します。

(2) バージョンの確認

altibase -v コマンドを実行して、Altibase のバージョン情報が表示されることを確認します。

3. データベースの作成と削除

Altibase を使用するには、最初にデータベースを作成します。

(1) isql を sysdba で起動します。

```
isql -u sys -p manager -sysdba
```

(2) Altibase サーバプロセスを起動します。

```
Isql> Startup process
```

(3) データベース作成コマンドを実行します。(データベース名は mydb を指定してください)

```
Isql> create database mydb INITSIZE=100M noarchivelog;
```

(4) Altibase サーバプロセスを停止します。

```
Isql> shutdown abort;
```

以下の例では、初期サイズが **10MB** のデータベースを作成します。

```
isql -u sys -p manager -sysdba
```

```
-----  
Altibase Client Query utility.
```

```
Release Version 4.3.9.64
```

```
Copyright 2000, ALTIBASE Corporation or its subsidiaries.
```

```
All Rights Reserved.  
-----
```

```
Write Server Name (default:127.0.0.1) :
```

```
ISQL_CONNECTION = IPC, SERVER = 127.0.0.1, PORT_NO = 20300
```

```
iSQL>create database mydb initsize=10M noarchivelog;
```

```
iSQL>shutdown abort;
```

4. Altibase サーバの起動と確認

(1) サーバの起動

Server start コマンドを実行して **Altibase** サーバを起動します。

(2) サーバの停止

Server stop コマンドを実行して **Altibase** サーバを停止します。

5. コマンドラインツールの使用

(1) SQL コマンドの実行

Isql コマンドを実行します。コマンド入力プロンプトが表示されますので、実行する **SQL** コマンドを入力します。**Isql** についての詳細は『**isql User's Manual**』を参照してください。

(2) データのロード/アンロード

iload コマンドを実行します。**Iloader** についての詳細は『**iload User's Manual**』を参照してください。

— 以上 —